

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針 新旧対照表 (案)

改正後	改正前
<p>第 1 ・ 第 2 (略)</p> <p>第 3 がん検診</p> <p>1 総則</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 実施体制</p> <p>がん検診の実施体制は、次のとおりとする。</p> <p>① (略)</p> <p>② <u>市町村(特別区を含む。以下同じ。)</u>は、<u>当該市町村の区域内に居住地を有する者の職域等がん検診(市町村が健康増進事業として実施するがん検診以外のがん検診であつて、2から7までに規定する検診項目(3に規定するHPV検査単独法を除く。)</u>によるものをいう。以下同じ。)の受診状況(以下「<u>職域等がん検診情報</u>」という。)を把握し、<u>職域等がん検診情報も踏まえた適切な受診勧奨及び精密検査勧奨に努めること。なお、把握する職域等がん検診情報の具体的な項目は様式例 1 から 5 までを参照することとし、把握に当たっては電子的な方法を用いる等、市町村の実態に応じて、効率的な実施に努めること。</u></p> <p>③ (略)</p> <p>④ (略)</p>	<p>第 1 ・ 第 2 (略)</p> <p>第 3 がん検診</p> <p>1 総則</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 実施体制</p> <p>がん検診の実施体制は、次のとおりとする。</p> <p>① (略)</p> <p>(新設)</p> <p>② (略)</p> <p>③ (略)</p>

⑤ (略)

⑥ (略)

⑦ (略)

(3) (略)

(4) 実施回数等

①・② (略)

③ HPV 検査単独法による子宮頸がん検診については、原則として、同一人について5年に1回とする。精度管理の観点で、30歳からの5年刻みの年齢（以下「節目年齢」という。）の者に対し行うことを推奨する。

さらに、HPV 検査単独法による子宮頸がん検診における追跡検査(※)については、直近の検診において HPV 検査陽性かつトリアージ検査陰性となった者（以下「追跡検査対象者」という。）に対して実施する。

直近の節目年齢で HPV 検査単独法による子宮頸がん検診を受診せず、かつ前年度に子宮頸部の細胞診による子宮頸がん検診を受診しなかった者に対しては、積極的に受診勧奨を行うとともに、当該年度において受診機会を与える観点から、受診機会を必ず毎年度設けることとする。加えて、HPV 検査単独法において、前年度以前に追跡検査を受診しなかった追跡検査対象者に対しても積極的に受診勧奨を行うとともに、当該年度において追跡検査の受診機会を与える観点から、追跡検査の受診機会を必ず毎年度設けること

④ (略)

⑤ (略)

⑥ (略)

(3) (略)

(4) 実施回数等

①・② (略)

③ HPV 検査単独法による子宮頸がん検診については、原則として、同一人について5年に1回とする。精度管理の観点で、30歳からの5年刻みの年齢（以下「節目年齢」という。）の者に対し行うことを推奨する。

さらに、HPV 検査単独法による子宮頸がん検診における追跡検査(※)については、直近の検診において HPV 検査陽性かつトリアージ検査陰性となった者（以下「追跡検査対象者」という。）に対して実施する。

直近の節目年齢で HPV 検査単独法による子宮頸がん検診を受診せず、かつ前年度に子宮頸部の細胞診による子宮頸がん検診を受診しなかった者に対しては、積極的に受診勧奨を行うとともに、当該年度において受診機会を与える観点から、受診機会を必ず毎年度設けることとする。加えて、HPV 検査単独法において、前年度以前に追跡検査を受診しなかった追跡検査対象者に対しても積極的に受診勧奨を行うとともに、当該年度において追跡検査の受診機会を与える観点から、追跡検査の受診機会を必ず毎年度設けること

とする。なお、節目年齢の者に対して実施する市町村において、節目年齢以外の年齢で受診した者については、追跡検査対象者を除き、次回は節目年齢に受診勧奨を行うこととする。

※ 追跡検査対象者に対して行う HPV 検査単独法による子宮頸がん検診。当該年度に追跡検査対象者となった場合には、翌年度に追跡検査を受診する。

各検診の受診率は、職域等がん検診の受診者を含む受診者数又は含まない受診者数のそれぞれについて、以下の算定式により算定する。

< 1年に1回の場合 >

$$\text{受診率} = \frac{\text{（当該年度の受診者数）}}{\text{（当該年度の対象者数）}} \times 100$$

< 2年に1回の場合 >

$$\text{受診率} = \frac{\text{（前年度の受診者数）} + \text{（当該年度の受診者数）} - \text{（前年度及び当該年度における2年連続受診者数）}}{\text{（当該年度の対象者数）} * } \times 100$$

\*対象者数は、年1回行うがん検診の場合と同様の考え方で算定する。

とする。なお、節目年齢の者に対して実施する市町村において、節目年齢以外の年齢で受診した者については、追跡検査対象者を除き、次回は節目年齢に受診勧奨を行うこととする。

※ 追跡検査対象者に対して行う HPV 検査単独法による子宮頸がん検診。当該年度に追跡検査対象者となった場合には、翌年度に追跡検査を受診する。

それぞれの受診率は、以下の算定式により算定する。

(新設)

< 2年に1回の場合 >

$$\text{受診率} = \frac{\text{（前年度の受診者数）} + \text{（当該年度の受診者数）} - \text{（前年度及び当該年度における2年連続受診者数）}}{\text{（当該年度の対象者数）} * } \times 100$$

\*対象者数は、年1回行うがん検診の場合と同様の考え方で算定する。

< 5年に1回の場合（HPV 検査単独法による子宮頸がん  
検診） >

受診率 = (当該年度及び過去4か年度の間に HPV 検査単  
独法による子宮頸がん検診を1度以上受診した者  
の数\*) / (当該年度の対象者数\*\*) × 100

\* 追跡検査のみの受診者は除く。

\*\* 対象者数は、年1回行うがん検診の場合と同様の考  
え方で算定する。

④ (略)

(5) ・ (6) (略)

2～8 (略)

< 5年に1回の場合（HPV 検査単独法による子宮頸がん  
検診） >

受診率 = (当該年度及び過去4か年度の間に HPV 検査単  
独法による子宮頸がん検診を1度以上受診した者  
の数\*) / (当該年度の対象者数\*\*) × 100

\* 追跡検査のみの受診者は除く。

\*\* 対象者数は、年1回行うがん検診の場合と同様の考  
え方で算定する。

④ (略)

(5) ・ (6) (略)

2～8 (略)

改正後	改正前
<p><b>様式例 1</b></p> <p style="text-align: center;">胃がん検診質問用紙</p> <p style="text-align: right;">(氏名)</p> <p style="text-align: center;">(生年月日)      年      月      日</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 今年度又は昨年度(※)に胃部エックス線検査(バリウムによるレントゲン撮影)又は胃内視鏡検査(胃カメラ)を受けましたか(複数回答可)。</p> <p>1. 胃部エックス線検査(バリウムによるレントゲン撮影)を受けた  2. 胃内視鏡検査(胃カメラ)を受けた  3. どちらも受けていない  4. わからない</p> <p>(※)年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;①で検査を受けたと回答した方に対して&gt;</p> <p>② がん検診(※)として受診したものが含まれますか。</p> <p>1. はい  2. いいえ  3. わからない</p> <p>(※)市区町村が実施した検診、勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診、その他の検診(人間ドック等)を指します。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;②で1と回答した方に対して&gt;</p> <p>③ ②のがん検診は、いつ受けましたか(複数回受けた方は、最後に受けたがん検診について回答してください)。</p> <p>1. 今年度  2. 昨年度</p> <p>(※)年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。</p> </div>	<p>(新設)</p>

**様式例 2**

子宮頸がん検診質問用紙

(氏名)

(生年月日) 年 月 日

(新設)

① 今年度又は昨年度(※1)に子宮頸部の細胞診(※2)を受けましたか。

1. 受けた
2. 受けていない
3. わからない

(※1) 年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。

(※2) 子宮頸部(子宮の入り口)を、医師が専用のブラシやヘラでこすって細胞を採り、異常な細胞がないか顕微鏡で調べる検査

<①で1と回答した方に対して>

② がん検診(※)として受診したものが含まれますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

(※) 市区町村が実施した検診、勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診、その他の検診(人間ドック等)を指します。

<②で1と回答した方に対して>

③ ②のがん検診は、いつ受けましたか(複数回受けた方は、最後に受けたがん検診について回答してください)。

1. 今年度
2. 昨年度

(※) 年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。

**様式例 3**

肺がん検診質問用紙

(氏名)

(生年月日) 年 月 日

① 今年度又は昨年度（※1）に胸部エックス線検査（胸のレントゲン撮影）（※2）を受けましたか。

1. 受けた
2. 受けていない
3. わからない

（※1）年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。

（※2）喀痰細胞診（痰に含まれる細胞や成分を測定してがん細胞の有無を調べる検査）を胸部エックス線検査と組み合わせて実施した場合も含まれます。

<①で1と回答した方に対して>

② がん検診（※）として受診したものが含まれますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

（※）市区町村が実施した検診、勤め先又は健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診、その他の検診（人間ドック等）を指します。

<②で1と回答した方に対して>

③ ②のがん検診は、いつ受けましたか（複数回受けた方は、最後に受けたがん検診について回答してください）。

1. 今年度
2. 昨年度

（※）年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。

(新設)

**様式例 4**

乳がん検診質問用紙

(氏名)

(生年月日) 年 月 日

(新設)

① 今年度又は昨年度にマンモグラフィ検査を受けましたか。

1. 受けた
2. 受けていない
3. わからない

(※) 年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。

<①で1と回答した方に対して>

② がん検診(※)として受診したものが含まれますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

(※) 市区町村が実施した検診、勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診、その他の検診(人間ドック等)を指します。

<②で1と回答した方に対して>

③ ②のがん検診は、いつ受けましたか(複数回受けた方は、最後に受けたがん検診について回答してください)。

1. 今年度
2. 昨年度

(※) 年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。



様式例 5

大腸がん検診質問用紙

(氏名)

(生年月日) 年 月 日

(新設)

① 今年度又は昨年度に便潜血検査(検便)を受けましたか。

1. 受けた
2. 受けていない
3. わからない

(※) 年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。

<①で1と回答した方に対して>

② がん検診(※)として受診したものが含まれますか。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

(※) 市区町村が実施した検診、勤め先又は健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診、その他の検診(人間ドック等)を指します。

<②で1と回答した方に対して>

③ ②のがん検診は、いつ受けましたか(複数回受けた方は、最後に受けたがん検診について回答してください)。

1. 今年度
2. 昨年度

(※) 年度とは、4月1日から翌年3月31日を指します。